

【問合せ先】

第五管区海上保安本部

交通部企画課

課長 服部 理

電話 078-391-6551 (内線 2610)



第五管区海上保安本部

平成 29 年 3 月 23 日

午後 2 時 00 分発表

霧海難防止キャンペーンの実施について

瀬戸内海及び紀伊半島沿岸は、春先から梅雨期にかけて濃霧が発生しやすく、この視界不良に起因する衝突・乗揚げ海難の発生が懸念される状況にあります。

このため、平成 11 年以降、視界制限状態における遵守事項をまとめた「霧五戒」を周知する等により、海難防止に努めているところです。

本年も、近畿・四国地方海難防止強調運動の一環として、官民が一体となって次のとおり「霧海難防止キャンペーン」を実施します。

- 1 キャンペーン期間
平成 29 年 4 月 1 日 (土) から 6 月 30 日 (金) まで
- 2 対象船舶
全船舶
- 3 主な周知方法
(1) 各海上保安 (監) 部等の窓口及び訪船によるポスター・リーフレットの配布
(2) 海難防止講習会による周知
(3) 第五管区海上保安本部の海の安全情報 (沿岸域情報提供システム) による周知
(4) 巡視船艇の電光表示装置による周知
- 4 霧発生時等視界制限時の遵守事項をまとめた「霧五戒」

「霧五戒」

- ・ 気象状況を早期に把握すべし
最新の気象・海象情報を把握しましょう。
- ・ 船舶間コミュニケーションを促進すべし
VHF や汽笛信号等を活用する。大阪湾海上交通センターから、通航船舶の安全のため緊急に情報を提供することがあります。
視界の状況に関係なく、常時 VHF 電話 (CH16) を聴守しましょう。
- ・ 航法を守るべし
見張りの強化 (船橋当直の増員)、レーダーの適切な使用、安全な速力での航行、音響信号の励行、機関用意、早期の適切な避航。
- ・ 自動操舵装置を適正に使用すべし
視界制限状態 (視程 2,000m 以下) になったら、速やかに手動操舵に切り替えましょう。
- ・ 早期に避泊すべし
無理な航行・操業を止め、視界の回復を待ちましょう。

〔今年のポスター及びリーフレット（表面）〕

**4月1日
▶6月30日**

**霧島海難
防止キャンペーン**

海のもしものは
118番

近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議
事務局：公益社団法人 神戸海難防止研究会
公益財団法人 海上保安協会神戸地方本部

霧五戒してありますか?

Five Requests to Navigation in The Dense Fog

1. 気象状況を早期に把握すべし Grasp weather conditions early

最新の気象・海象情報を把握しましょう。
Grasp the latest weather condition.

2. 船舶間コミュニケーションを促進すべし

VHFや汽笛信号等を活用する Keep watch on VHF(ch16)
大阪湾海上交通センターから、通航船舶の安全のため緊急に情報を提供することがあります。
視界の状況に関係なく、常時VHF電話(ch16)を聴守しましょう。
Vessels navigating through Akashi Kaikyo and the adjoining area are requested to keep watch on VHF(ch16), regardless of the state of visibility, for Osaka Wan Traffic Advisory Service Center may provide urgent traffic information for maritime traffic safety.



3. 航法を守るべし Observe conduct of vessels in restricted visibility

見張り強化(船橋当直の増員)、レーダーの適切な使用、安全な速力での航行、音響信号の励行、機関用意、早期の適切な避航。
Keep a sharp lookout (increase in personal), Use radar suitably, Proceed at safe speed, Use sound signals, Stand-by engine, Take early action to avoid collision observing good seamanship.

4. 自動操舵装置を適正に使用すべし Use an automatic pilot properly

視界制限状態になったら、速やかに手動操舵に切り替えましょう。
Start manual steering promptly in or near the area of restricted visibility.

5. 早期に避泊すべし Anchor early in the safe sea area

無理な航行・操業を止め、視界の回復を待ちましょう。
Anchor early in safe area, and wait for the recovery of visibility.



霧通報

明石海峡、友ヶ島水道、鳴門海峡、阪神・姫路・和歌山下津各港において視程が2,000メートル以下となった場合、随時放送しています。
VHFch12、国際・日本語ナブテックス
AIS情報、五管区内の各海上保安部 海の安全情報(HP)

FOG INFORMATION

When the visibility in Akashi Kaikyo, Tomogashima Suido, Naruto Kaikyo and Port of Himeji, Wakayama-Shimotsu is reduced less than 2,000 meters, Fog information is broadcasted as follows.
1.F3E 156.6MHz(CH12) in English
2.NAVTEX
3.AIS information

大阪湾海上交通センターからの情報提供

VHFch14, ch22
ラジオ放送1651kHz(日本語)、2019kHz(英語)
TEL:0799-82-3040
HP:<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/osakawan/>
※ 携帯電話からのアクセス HP:<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/osakawan/m/>

INFORMATION from Osaka Wan Traffic Advisory Service Center

1.F3E 156.7MHz(CH14), 161.7MHz(CH22) in English
2.H3E 2,019kHz Every hour 00-15 min and 30-45 min in English

船舶気象通報

【テレフォンサービス】
(大阪湾及び播磨灘)・・・TEL:078-334-2177
(徳島県沿岸)・・・TEL:0739-23-3177
(和歌山県沿岸)・・・TEL:0885-35-1177
(高知県沿岸)・・・TEL:088-837-8177

【海の安全情報(沿岸域情報提供システム)】

● パソコン
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/>
● スマートフォン
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>
● 携帯電話
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



スマートフォン用
バーコード



携帯電話用
バーコード